



平成29年度

## 第2回 みみらんどセミナー

「補聴機器・FM補聴システムについて」

☆ 実施日時 ☆ 平成29年6月14日(水) 13:15~14:30

☆ テーマ ☆ 「補聴器機・FM補聴システムについて」

☆ 講師 ☆ (株)フォナック・ジャパン 林 邦広 様



### 補聴器機の限界

補聴器機が有効なのは、対面の1対1の会話で、かつ静かな環境。1m~2mが限界で、目を見てゆっくり区切りながら会話をする必要があります。

距離・騒音・残響音が聞こえを阻害する3つの要因です。



### 限界を克服する補聴システム

騒音下での聞こえを向上させるために、話し手のマイクロホンから、様々な手段で直接聞き手の耳(受信機等)に届けます。

「ループシステム」→磁気

「赤外線システム」→赤外線

「FMシステム」→FM電波

「デジタル補聴システム」→デジタル方式

(フォナック社製 roger: ロジャー)

### 子どもへの効果

補聴器や補聴システム等を活用し、いかに聞かせ、話させるかが大切です。聞こえなければ正しい発話も難しくなります。

子どもは大人よりも可能性が高く、自分の話し声を聞かせて耳にフィードバックさせることで、言葉を増やす効果が期待されます。

### 子どもの「言語獲得」と「自立」

乳幼児期から中・高校生までの第1目標は「言語獲得」であり、社会に出れば「自立」が第2目標となります。

「障害者差別解消法」や「合理的配慮」という観点からも、家庭・学校・職場において補聴器機や補聴システムを整備し、成長に合わせた目標を達成させましょう。



### フォナック社製「ロジャー」 roger

ロジャーは2.4GHz帯のデジタル無線方式で、20m離れていても音がクリアに届きます。チャンネル設定も不要です。聴き取りの向上が期待されるだけでなく、授業への関心・参加度も高まります。

★新製品「スカイV」「ロジャータッチスクリーンマイク」等のフォナック社各種製品については、  
(株)フォナック・ジャパンのホームページをご覧ください。 <http://www.phonak.jp/>